

現場最前線 ～工事現場レポート 2～

＜焼津市上小杉に建つ家＞ (2人の住まい+4人の住まい) 敷地 160.57坪

～平屋建て 在来軸組工法 延床面積 28.39坪 延施工面積 29.48坪 御両親の住まい～
～2階建て 在来軸組工法 延床面積 32.01坪 延施工面積 35.16坪 若夫婦の住まい～

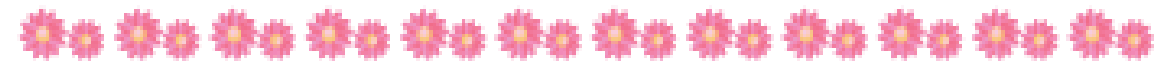
お客様のご協力のもと、3月24日(土)・25日(日)の2日間、2棟同時の完成見学会を開催させていただきました。土曜日の日は風が強く、寒さも厳しい日でしたが、2日間で38組の来場者があり、一時は混雑する位の盛況でした。ご来場いただいたお客様方も、平屋建てと2階建ての両方を見ることができて参考になったことと思います。

少し長く見学をして下さった方からは2棟共、気持ちが良いとの意見が多く聞かれました。この会場の住まいは、居室部分の床材・天井材を無垢材のフローリング・羽目板等で仕上げしており、無垢材の調湿効果が見学者にとっても気持ちが良いと感じられたことと思います。

断熱工事の件ですが、遮熱材の使用と外断熱工法で屋根・壁・床と家全体を包み込む形で施工していますので、お客様も寒さに対して建築の途中でも暖かさを感じられたようで、大変喜んでおられました。



4月5日の大安に、午後から現地において建築に携わった協力業者も集まり完成引渡式を行いまして、それぞれがお祝いの言葉を述べてお客様へ感謝の気持ちを伝えました。片山建設にとっても、現場見学会を開催させていただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。



なるほど辞典

～金環日食～

2012年5月21日(月)午前7時半前後に、日本列島の広範囲で「金環日食」が見られることをご存知ですか?この「金環日食」とは、月の陰に太陽が完全に隠れるわけではなく、太陽のふちの部分が少しだけ見える日食だそうです。太陽がリングのように輝く姿はとても美しいのでしょ

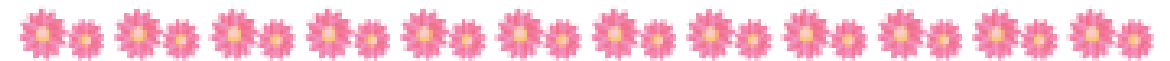
うね!
太陽の観察というと、黒色の下敷きや感光したフィルムなどで見たという思い出のある人もいるかと思いますが。子供の頃、そのような方法で太陽を観察した後に目を閉じても開いても、視野の中に太陽の光が丸い点となってしばらく残っていた、なんて経験はありませんか?それって実は目に有害な光線が、網膜に悪い影響を与えていた証拠なんですよ。

太陽の光には、眩しい光として感じる可視光線の他に温かさを感じる赤外線、肌を焼くことでもおなじみの紫外線などがふくまれています。

晴れの日に直接太陽を見てしまったり、下敷きやフィルム、ガラスなどを通してしまったりすると、強すぎる光線が網膜を傷つけて目に悪影響を及ぼすことが専門医から指摘されています。

日食の時に誤った方法で太陽を長時間観測してしまい、網膜に障害を起こすことを「日食網膜症」というそうです。昔から日食が起きると発症する人が多かったのだとか。きれいな日食を見て目に悪影響を与えてしまった・・・なんて悲しいですよ。オート日食グラスなど、目に有害な光線をしっかりとカットしてくれるアイテムを準備しておく、より安全・安心に楽しんで見ることが出来ますね。

2012年5月21日の金環日食は観測エリアによっても時間帯が微妙に異なるようです。観測エリアも限られますので、天文台サイト内の専用サイトをチェックしてみてください。
当日は天気が良好で、日本のいろいろな所できれいに見えるといいですね!



(株)片山建設

〒426-0041 静岡県藤枝市高柳3丁目29-15

代表取締役 片山茂夫

TEL: 054-635-7022

FAX: 054-636-2674

E-mail: info@kata-ken.co.jp

HOMEPAGE: http://www.kata-ken.co.jp